

News Release



BASF、スチレン事業の分離をさらに進める

- スチレン共重合体事業も売却対象に追加
- スチレン事業は BASF グループ子会社として再編

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)はスチレン事業の売却を進めており、このほど同事業を子会社化いたします。新子会社は、2009年1月に設立の予定です。

また、売却する事業の範囲を拡大し、スチレン共重合体事業も追加します。新たに売却の対象となるのは、ドイツのルートヴィッヒスハーフェンとシュヴァルツハイデにあるスチレン系共重合体の製造プラント、および世界的なスチレン共重合体のマーケティング、販売、物流機能です。

新たに設立する子会社は、グローバルのスチレン事業を独立して展開します。含まれる事業は、汎用品のスチレン・モノマー(SM)、ポリスチレン(PS)、スチレン・ブタジエン共重合体(SBS)、アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン(ABS)と、スチレン共重合体ブランドのルーラン(SAN)、ルーラン HH(AMSAN)、ルーラン S(ASA)、ターブレンド N(ABS/PA)、テルラン HH(ABS-HH)、テルラックス(MABS)、スタイロフレックス(SBS)です。スチレン事業は汎用品と共重合体を合わせて計 1,600 人の従業員を擁し、2007年度の総売上高は 40 億ユーロでした。生産拠点はベルギーのアントワープ、ドイツのルートヴィッヒスハーフェンとシュヴァルツハイデ、メキシコのアルタミラ、ブラジルのサン・ジョゼ・ドス・カンポス、インドのダヘジ、韓国の蔚山にあります。売却対象ではない残りのスチレン系プラスチックの事業は今

2008年8月21日

お問い合わせ:
BASF ジャパン株式会社
大倉 真紀
TEL: 03-3238-2341
FAX: 03-3238-2514
maki.okura@basf.com

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒102-8570
東京都千代田区紀尾井町 3-3
TEL: 03-3238-2341
FAX: 03-3238-2514
<http://www.japan.basf.com>

後、建設業界、および梱包業界向けの発泡体事業に集中し、パフォーマンスポリマー事業本部の一部として展開して参ります。

プラスチック部門を担当する BASF 本社取締役、マーティン・ブルーダーミュラーは次のように述べています。

「BASF では、事業の将来性を高めるとともに、成功の可能性の幅を広げるためにスチレン系ポリマー事業の再編を進めていきます」。

スチレン系汎用製品は、家庭用品や事務用品、情報技術の分野を中心に、化粧品や梱包などにも使用されています。スチレンは無色の液体で、これらの分野で用いられるプラスチックの原料となります。スチレン系共重合体は熱可塑性を持ち、スチレン・モノマーとアクリロニトリル・モノマーからできています。薬品と温度に対する耐性が高いため、各種日用品の製造に用いられるほか、自動車業界やエレクトロニクス業界でも幅広く利用されています。

BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。製品ポートフォリオは、石油・ガスから化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、ファインケミカル製品と多岐にわたります。信頼に応えるパートナー企業として、あらゆる業界のお客様のさらなる成功をサポートしています。BASFは、高付加価値製品と高度なソリューションの提供を通し、温暖化防止やエネルギー効率の向上、栄養改善、モビリティ向上などの世界的な課題の解決に重要な役割を果たしています。従業員数は9万5,000人超、2007年には約580億ユーロの売上高を計上いたしました。BASF のホームページアドレスは、www.basf.com、BASF ジャパンのホームページアドレスは、www.japan.basf.comです。